

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年10月8日(木) 11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

### 発表事項

1. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に採択
2. 学長特別講演会シリーズ 第2回「地方創生～いつの時代も日本を変えてきたのは「地方」です～」を開催します
3. 大学生ライフデザインセミナー「大学生だからこそ「少子化のこと」しっかり語ろう！」を開催します
4. 学部間協定締結等のため海外から3名の教授が山形を訪問
5. 「旬の学生生活動発表会」を開催します

### お知らせ

1. 留学生とチューターの合同研修旅行について
2. サイエンスカフェ「ヤマガタ食材を科学する」を開催します
3. 「理学部ホームカミングデー2015」を開催します
4. 「山形大学農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチ」を開催します
5. 「東北野生動物管理研究交流会 in ふくしま」を開催します (YU-COE)

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成27年10月20日(火)11:00～11:45

場 所:事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

平成27年10月8日  
山形大学

## 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に採択

文部科学省が平成27年度に募集した「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に『協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業』が採択されました。（申請件数：56件、採択件数：40件）

### 1. 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」とは

地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化、地方への人口集積等を推進するため、地域における複数の大学が、地域活性化政策を担う地方公共団体、人材を受け入れる企業や地域活性化を目的に活動するNPO及び民間団体等と協働し、当該地域における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上を推進するものです。

特に、大学は、地域と一体となって、雇用創出や地元就職率の向上に取り組むとともに、その地域が必要とする人材を養成するための教育カリキュラムの構築・実施に取り組むこととします。（平成27年度大学教育再生戦略推進費）

### 2. 山形大学のプログラム概要

本事業では、本学が地域と協働して実施してきた各種事業をベースに、更に加速させるため、コーディネーターを活用し、教員・学生と地方公共団体・企業・NPOの職員・地元住民が参加する協働人材育成部会を組織する。この部会では、学外研修科目・課題解決科目・協働研究科目を主体とした教育科目を開発し、地元就職し、地域の課題解決を担う人材を育成します。

また、産学官金連携による共同研究等を推進して新産業を開発するとともに、卒業生の地元就業を促進する。開発した教育事例は本学及び参加大学の全学的な教育改革へ反映します。

このように一連の事業を通して、地域全体における雇用創出・就職率の向上を図り、東京一極集中社会の解消を目的とする事業です。

#### 【事業協働機関】

（参加大学） 県立米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校、東北公益文科大学、東北文教大学、東北文教大学短期大学部

（参加自治体） 山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、上山市、長井市、西川町、真室川町、戸沢村、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町

（参加企業等） 県商工会議所連合会、県商工会連合会、県工業会、県銀行協会、県信用金庫協会、県経営者協会、山形創造NPO支援ネットワーク

（協力大学） 県立保健医療大学、県立米沢女子短期大学、県立産業技術短期大学校、東北芸術工科大学、羽陽学園短期大学、山形工科短期大学校

【事業期間】 5年間（平成27年度～平成31年度）

（お問合せ先）

山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課  
電話 023-628-4843

# 山形大学COC+事業の目的・概要

## COC+大学の目的・目標を踏まえた地方創生

### これまでの事業成果

#### 地域連携

#### ・山大COC事業

・エリアキャンパス最上

#### 大学間連携

・大学コンソーシアムやまがた

・FDネットワークつばさ

#### 地方創生事業

#### ・東北創生研究所

・有機エレクトロニクス研究

・地域と共同研究等54件

#### 参加大学事業

・東北公文大COC事業

### COC+事業の目的・概要

**協働人材育成部会**の活用  
(コーディネーターによる主催)  
事業協働機関と共に地方創生  
に向けて人材育成

#### 1. 学外研修科目

⇒仕事に主体性と責任を持つ人材

#### 2. 課題解決科目

⇒地域課題を解決する人材

#### 3. 協働研究科目

⇒地方創生のリーダーになる人材

### COC+事業の成果目標

#### 5年後の数値目標

地元就職350人(100人増)

地元就職率35%(10%増)

大学発ベンチャー起業5件

(以上は山形大学のみ)

雇用創出150人

(事業協働機関企業125人、  
ベンチャー企業25人)

寄付講座4講座

奨学金基金制度創設

事業継続基金設立

### 第3期中期目標

・中期計画

地域と地方大学が抱える課題を解決し、  
「地域創生」を牽引するモデル大学

# プレス発表資料

平成 27 年 10 月 8 日  
山形大学

## 学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」 第 2 回「地方創生～いつの時代も日本を変えてきたのは「地方」です～」を開催

山形大学の使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を国内外に発信するために学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」を開催します。

### 【開催主旨】

平成 28 年度からの第 3 期中期目標・中期計画期間を前に設定した山形大学の 3 つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を国内外に発信します。学内に対しては「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究をどんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地域創生につなげよう」とのコンセプトを定着させるべく、公開の学長特別講演会を継続的に開催します。

### 【小山清人学長メッセージ】



山形大学では「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命としております。

私は、この 3 つの使命について国内外の様々な分野で活躍されている方と意見を交わすことによって、学内教職員はもとより、学生諸君や地域の皆さまと一緒に将来の山形大学の姿についての共通理解を深めたいと考えております。

皆さま、是非ご参加ください。

### 【モデレーター：土井正己特任教授】

元トヨタ自動車株式会社（グローバルコミュニケーション室長、広報部担当部長）

### 【方法】

国内外の著名な講師陣による小山学長主催の特別公開講演会を継続的に（2 か月に 1 回程度）学内で開催します。参加無料。

### 【対象】

学生、教職員、高校生、一般市民

### 【第 2 回実施概要】

別紙チラシをご覧ください。

（お問い合わせ）

総務部総務課広報室 樋口

電話：028-628-4008

Mail：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第2回 学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」



# 地方創生

～いつの時代も日本を変えてきたのは「地方」です～

平成27年

11月4日(水) 16:30~  
18:00

会場：山形大学小白川キャンパス  
基盤教育1号館112教室



【講師プロフィール】

1994年青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科卒業後、農林水産省入省。コーネル大学ジョンソン経営大学院修士課程修了(MBA)。埼玉県農業政策課長(出向)、石破茂農林水産大臣秘書官事務取扱、食料産業局食品企業行動室長等を経て、2013年7月内閣総理大臣官邸国際広報室に出向し、官邸を司令塔とした我が国の国際広報を担当。アベノミクスをはじめとする我が国の重要政策や基本的な立場、日本の強み・魅力等の対外発信に従事。2015年10月から現職にて、農村振興、地方創生を担当。

＜プログラム＞ 司会：土井正己  
山形大学特任教授

16:30 開会の挨拶 山形大学長 小山 清人

16:40 講演  
にし きょうこ  
講師：西 経子 氏  
(農林水産省 農村振興局  
地域振興課 日本型直接支払室長)

17:30 対談 (西氏、小山学長)

18:00 閉会

◆ 対象：学生、高校生、一般(定員210名) ※定員になり次第締切

◆ お申込み方法：

住所、氏名(ふりがな)、年齢(学生の場合は大学・学部・学科)、電話番号、メールアドレスをご記入の上、Eメールでお申込み下さい。

送信先：[koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

◆ 締切：平成27年10月30日(金)



会場へのアクセス・  
お申込みメールアドレスは  
こちらから

お問い合わせ先

山形大学総務部総務課広報室 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL: 023-628-4010 FAX: 023-628-4013 <http://www.yamagata-u.ac.jp>



平成 27 年 10 月 8 日  
山 形 大 学

## 大学生ライフデザインセミナー

### 「大学生だからこそ「少子化のこと」しっかり語ろう！」を開催します

11月7日（土）に平成27年度大学生ライフデザインセミナー「大学生だからこそ「少子化のこと」しっかり語ろう！」を開催します。

（主催：山形県、共催：山形大学・東北文教大学・白鷹町）

山形大学と東北文教大学の学生と一緒に、人口減少が進む町に出かけ実態を視察したあと、山形県の人口減少問題についてグループ討論を行うことで、どのような原因で人口減少が進んでいるのかを考える企画です。中でも最近では未婚化や晩婚化が進んでいますが、この現象は若い大学生の目にはどのように映っているのか、また未婚化や晩婚化が進む原因は何なのかを大学生の視点から討論をしてもらうことで、人口減少問題について真剣に考え、今後の学習や自分のライフプランを考えるきっかけにしてもらう企画です。

両大学の学生および関係者がバスで白鷹町に出かけ、人口減少によって統廃合が進む小学校や中学校を視察し、人口減少が身近な問題であることを感じてもらい、その上で、人口減少をどのように捉えるべきかを討論してもらう企画ですが、次のような目的も企図しています。

- (1) 両大学の男子学生と女子学生が討論を行うことで、多様な考え方があることを知ってもらうと同時に、これまで交流の薄かった両大学の学生交流を活発にする契機とする。
- (2) 山形県の人口減少は、若い世代が首都圏等へ流出する「社会減」と、出生率が低下して生じる「自然減」により、今後さらに加速して進行し、労働力不足による生産活動の低下や社会保障の不安定化など地域経済、医療、福祉、教育等様々な分野への影響が懸念されている。その実態について学んでもらい、自分達の住む山形県の少子化の現状を身近な事として感じてもらう機会とする。
- (3) 人口減少への対応として、結婚、子育て、ワークライフバランスなど総合的な少子化対策、若者の県内定着や東京一極集中機能の分散など新しい人の流れを創出するための対策が進められている点についても学習する。
- (4) このセミナーでは、学生たち自らが少子化について考える中で、結婚、子育ても含めたライフプランや新しい人の流れをつくるための本県の魅力についても自然な流れで話題にし、本音で語り合える場を提供する。

本件に関するお問い合わせ  
山形大学 学術研究院 教授（人文学担当）  
やまがた地域社会研究所長 國方敬司  
TEL 023-628-4268  
山形県子育て推進部 子育て支援課  
少子化対策専門員 菊地千恵子  
TEL 023-630-2668

## 大学生だからこそ

# 「少子化のこと」しっかり語ろう！

人口減少が進んでいます。山形県では今後 30 年間で約 3 割が減少と言われていています。

人口減少に歯止めをかけるため、今、国をあげて少子化対策が叫ばれています。

私たちの住む山形県の少子化の現状はどうなっているのか？

実際に地域に足を運んで確かめよう！

少子化の要因は？その対策は？私たちにできることは？・・・？

## 大学生の視点で「少子化のこと」本音で語り合おう！

日 時：平成 27 年 11 月 7 日（土）10：00～16：00

集 合：9：45 山形大学小白川キャンパス正門前

場 所：現地視察：白鷹町旧鷹山小学校ほか 意見交換：白鷹町文化交流センターあゆむ

対象者：山形大学、東北文教大学の学生 各 20 名 計 40 名程度

日 程：

10:00 山形大学(小白川キャンパス)出発

(車中) 情報提供 「白鷹町の概況について」(白鷹町企画政策課)

11:00 現地視察(白鷹町旧鷹山小学校、旧白鷹西中学校)

12:00 昼 食 情報提供「山形県の少子化の現状」(山形県子育て支援課)

13:00 グループディスカッション

大学生だからこそ「少子化のことしっかり語ろう！」

14:20 今の私たちの本音・・・(発表タイム)

14:50 國方先生が感じたこと・・・(コメント)

15:00 終了 ～バス移動～ 16:00 山形大学着・解散

参加費：無料

申込期限：10月20日(火)【山形大学】人文学部 國方教授

【東北文教大学】総務部 遠藤部長



白鷹町のおいしい鮎や和スイーツを味わって地域の良さも発見しちゃおう！！



## ◆◆アドバイザーのご紹介◆◆

# 山形大学

### 國方 敬司 氏

- ◆山形大学人文学部副部長
- ◆山形大学人文学部附属やまがた地域社会研究所長
- ◆研究・専門分野 環境経済学、イギリス経済史
- ◆研究テーマ 環境や少子高齢社会、少子化対策に関する問題
- ◆子育てするなら山形県推進協議会会長、山形県環境審議会委員

## ◆◆会場＆視察先（白鷹町）のご紹介◆◆

### 白鷹町文化交流センター「あゆむ」

地域文化、芸術文化を通じた町内外の人々との交流の場を目指す「文化」・「交流」・「人づくり」による街づくりの拠点施設。館内には白鷹産木材、深山焼の館内サイン、町出身の工芸作家による照明などを使用。ホール用イスは、朝日相扶の鈴木一司さんのデザイン。ホール後部のサッシは全面開放でき、屋外と一体となったイベントが開催できます。



### 旧 鷹山小学校

平成27年3月に閉校した小学校。平成10年、進行する少子化により萩野・滝野の2小学校を統合し建築されたが、近年さらに少子化が進行し、町内中心部の荒砥小学校へ統合し閉校した。閉校時(平成26年度)4学級、児童数は45名。

丘の上に建ち、校舎やグラウンドからの白鷹山の眺望は素晴らしく、晴れた日にはフライとするパラグライダーを見つけることができる。





平成27年度大学生ライフデザインセミナー

# 大学生だからこそ 「少子化のこと」しっかり語ろう!

平成27年11月7日(土) 10:00~16:00

会場：白鷹町文化交流センターあゆむ

視察：白鷹町 旧鷹山小学校・旧西中学校ほか



主催：山形県

共催：山形大学・東北文教大学・白鷹町



# 事業の目的

- 山形県の人口減少は、若い世代が首都圏等へ流出する「社会減」と、出生率が低下する「自然減」により、今後さらに加速して進行し、労働力不足による生産活動の低下や社会保障の不安定化など地域経済、医療、福祉、教育等様々な分野への影響が懸念されている。
- 人口減少への対応として、結婚、子育て、ワークライフバランスなど総合的な少子化対策、若者の県内定着や東京一極集中機能の分散など新しい人の流れを創出するための対策が進められている。
- このセミナーでは、大学生が山形県内でも少子化の進んでいる地域に足を運び、その現状を知り、身近な事として捉え、考えてもらう機会とするために開催するもの。
- また、学生たち自らが少子化について考える中で、結婚、子育ても含めたライフプラン、新しい人の流れをつくるための本県の魅力についても本音で語り合える場を提供する。



# 事業の概要

---

名 称：大学生だからこそ「少子化のこと」しっかり語ろう!

対象者：山形大学、東北文教大学の学生

参加人数：各大学 各20名 計40名

アドバイザー：山形大学 人文学部副部長 國方敬司 氏

開催日：平成27年11月7日（土）10:00～16:00

場 所：意見交換：白鷹町文化交流センターAYu:M あゆーむ

山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331番地

TEL：0238-85-9071

現地調査：今春閉校した白鷹町内小中学校ほか

事務局 山形県子育て推進部子育て支援課  
山形大学、東北文教大学、白鷹町企画政策課



# 当日の日程

---

10:00 山形大学(小白川キャンパス)出発

(車中) 情報提供「白鷹町の概況について」 白鷹町企画政策課

11:00 現地視察 白鷹町旧鷹山小学校、旧白鷹西中学校

(車窓) (子育て支援住宅、子育て支援センター、放課後児童クラブ)

12:00 昼 食

情報提供「山形県の少子化の現状」 山形県子育て支援課

13:00 グループディスカッション

大学生だからこそ「少子化のこと」しっかり語ろう！

※白鷹町のおいしい鮎や和スイーツを味わって地域の良さを発見してもらおう

14:20 今の私たちの本音 (発表タイム)

14:50 國方先生が感じたこと (コメント)

15:00 終了 ~バス移動~

16:00 山形大学着・解散



# 意見交換

- **会場：白鷹町文化交流センター「あゆーむ」**

地域文化、芸術文化を通じた町内外の人々との交流の場を目指す「文化」・「交流」・「人づくり」による街づくりの拠点施設。館内には白鷹産木材、深山焼の館内サイン、町出身の工芸作家による照明などを使用。ホール用イスは、朝日相扶の鈴木一司さんのデザイン。ホール後部のサッシは全面開放でき、屋外と一体となったイベントが開催できます。



写真左：交流回廊に吊るされた照明、写真右：ホール前のオブジェと照明

# 現地視察先①

- **旧 鷹山小学校**

平成27年3月に閉校した小学校。平成10年、進行する少子化により萩野・滝野の2小学校を統合し建築されたが、近年さらに少子化が進行し、町内中心部の荒砥小学校へ統合し閉校した。閉校時（平成26年度）4学級、児童数は45名。



丘の上に建ち、校舎やグラウンドからの白鷹山の眺望は素晴らしく、晴れた日にはフライとするパラグライダーを見つけることができる。

- **旧 白鷹西中学校**



平成27年3月に閉校した中学校。昭和41年、蚕桑・鮎貝両中学校の統合により建築されたが、少子化の進行により、今春、東中学校と統合し白鷹中学校が開校し、閉校した。閉校時（平成26年度）7学級、生徒数は167名。

## 現地視察先②（車窓）

- **白鷹町子育て支援センター「にこぽーと」**

平成25年4月オープン。家庭での子育てや孫育て中の方の子育て支援施設。利用料は無料で、0～3歳児を対象とする遊び広場、育児相談、育児講座等を開催。ファミリーサポートの受付もしている。



- **放課後児童クラブ（鮎っ子くらぶ）**

鮎貝小学校在学者で、放課後の家庭で保育が困難な小学校6年生までの児童を対象に開設。白鷹町子育て支援センター（にこぽーと）内に設置。

- **子育て支援住宅「みらい」**

子育て世帯の方に対して安価で良好な住宅を提供（賃貸）。オール電化住宅、床暖房設備完備。環境にも、人にも配慮した戸建て住宅。全12戸（うち8戸は町外者向け）



平成27年10月8日  
山形大学

## 学部間協定締結等のため海外から3名の教授が山形を訪問

ビッジャー・バーラダン氏、ララカー・バン・ステーデン氏、サム・キャセグン氏の3氏が、山形大学工学部米沢キャンパスで開催されている第3回国際スマシス会議「SmaSys2015」（10月8日～9日）に参加しています。また、ビッジャー・バーラダン氏とララカー・ステーデン氏が、学長を表敬訪問しました。3氏は、学部間協定の締結を希望しており、そのための表敬訪問・スマシス会議参加となります。

### 第3回 国際スマシス会議 「SmaSys2015」

日時：2015年10月8日（木）～9日（金）

会場：工学部米沢キャンパス・百周年記念館・1階セミナーホール

主催：博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」

共催：国際事業化研究センター

協賛：おいしい山形を届けるパッケージ材料拠点(TASTY)・ライフ-3Dプリンタ創成センター(LPIC)・ソフト&ウェットマター工学研究室(SWEL)他

講演：基調講演（50分）：

馬 淵 清資氏（北里大学）

ビッジャー・バーラダン氏（米国・ペンシルバニア州立大学）

招待講演（30分）：

相澤 直矢氏（九州大学）

土井 正男氏（中国・北京航空航天大学）

サム・キャセグン氏（米国・サンディエゴ州立大学）

高坂 泰弘氏（信州大学）

馬 利建氏（中国・四川大学）

中野 健氏（横浜国立大学）

ララカー・バン・ステーデン氏（ルーマニア・電気化学/物性物理学国立研究所）

一般講演（10分）：

学内の若手研究員、学生（発表受付終了）

分野：工学全般

URL：<http://smasys.yz.yamagata-u.ac.jp/2015/index.html>



## ビッジェー・バーラダン氏



ビッジェー・バーラダン(Vijay K. Varadan)氏は、現在、ペンシルベニア州立大学エンジニアリング・サイエンス学科および脳神経外科学科の教授を勤めている。これまでに、アーカンソー大学のナノ・バイオテクノロジーおよび医学の21世紀寄付講座教授、および電気工学の卓越教授、生医学工学(工学部)および脳神経外科(医学部)の卓越教授に従事。また、インド、オーストラリア、フィンランドからナノ・テクノロジー、バイオ・テクノロジーおよび医学の名誉博士号を授与されている。Varadan教授は、過去39年間、コーネル大学、オハイオ州立大学、ペンシルベニア州立大学の教員を勤めた後、2005年1月にアーカンソー大学に赴任。また、ナノ・エレクトロニクス、マクロ・エレクトロニクス、神経エレクトロニクスおよびセンサー・システムのCOEセンター長であり、

ワイヤレス・ナノ・センサー・システム(WiNS)のNSFセンター長でもある。医工学ナノテクノロジー・グローバル研究所(GINTEM)の所長でもある。この研究所の目的は、選ばれた諸外国での研究病院開発による先進的ナノテクノロジーを通して、現在および将来の医療の問題を解決するための世界的な貢献を生み出していくことにある。GINTEMは、ナノ、バイオ、および情報技術のセンサー・システムの設計と開発と関連する研究および教育を促進する非営利団体である。現在、この研究所は、ナノマテリアル、ナノチューブ・ナノコンポジット、安価なフレキシブル・エレクトロニクス、ヘルスケア・健康診断、再生可能グリーン・エネルギーシステム、情報技術などの分野において、労働力および経済開発を支援するグローバルなさまざまな先導的大学と提携している。この非営利機関は、ホーム機関と受け入れ機関によって提供される3 + 1デュアル学位プログラムを促進する最先端の研究および教育を奨励することにフォーカスしている。同様のプログラムは、グローバル機関を経て先導的大学での1学期ラボ教育やナノテクノロジー研究室でのトレーニングなどに興味のある医療分野の学位を目指す学生や看護研修を受ける学生に対して検討中である。

Varadan教授は、また、さまざまな電気的かつ音響的な構造的コンポジット、スマート材料、構造、センサーやトランスデューサー、微小電気機械システム(MEMS)を含むデバイスのデザインや開発に、さらにカーボンナノチューブ、ナノ電気機械システム(NEMS)、電磁波、音響および超音波吸収剤やフィルターの合成および大規模製造に注力してきた。また、パーキンソン病、てんかん、血液中のグルコースおよびアルツハイマー病をセンシングし、かつ制御するための神経刺激装置やワイヤレス・マイクロセンサー・システムを開発してきた。さらに、人間歩行解析、睡眠障害やさまざまな神経疾患に対するRFID(無線周波数認識装置:radio frequency identification device)によるシリコンおよび有機系ワイヤレス・センサー・システムの開発を行っている。Varadan教授は、学術雑誌「the Journal of Smart Materials and Structures」の創設者かつ編集長でもある。学術雑誌「the Journal of Nanotechnology in Engineering and Medicine」の編集長、「the Journal of Microlithography, Microfabrication and Microsystem」の共同編集者も務めている。International Journal of Computational Methodsの編集委員でもある。Varadan教授は、これまでに500以上の論文および14冊の著書を発表している。また、導電性ポリマー、スマート構造、スマート・アンテナ、位相シフター、カーボンナノチューブ、およびパー

キンソン病患者のためのインプラント可能なデバイス、MEMS、加速度計、ジャイロ스코ープに関連する15の特許を有している。Varadan教授は、SPIE、ASME、物理学研究所、アメリカ音響学会の会員である。海外の先導的な学校で多くの訪問教授の予定がある。

## ララカー・バン・ステーデン氏



ララカー・バン・ステーデン (Raluca-Ioana STEFAN-VAN STADEN) 教授は、ブカレスト電気化学研究所、PATLAB (工程分析技術研究所) およびルーマニアの電気化学・物性物理学国立研究所において、教授、主任研究員および研究所長を務めている。Raluca教授はルーマニアのブカレスト工科大学で教育に従事している。特に、電気化学センサーやプロセス技術、流路システム分野においてISI (International Scientific Indexing) 雑誌における230報以上の論文発表 (そのうちいくつかは雑誌の表紙を飾っている)、ほとんどのセンサー技術関連の書籍における多くの章を執筆、3冊の著書 (“Quality and reliability in analytical chemistry” (CRCプレス)、“Electrochemical Sensors in Bioanalysis” (マルセル・デッカー社)、“Laboratory Auditing for Quality and Regulatory

Compliance” (テイラー アンド フランシス社)) があり、さらには、多くの雑誌 (例えば、Preparative Biochemistry and Biotechnology(マルセル・デッカー社)やSensors and Transducers Journal) の編集委員でもある。最近、細胞質分裂、アディポサイトカイン、7つの神経伝達物質の高速スクリーニング法や子供の唾液中の臨床的差異解析をもとに、がん早期発見のための新規センサー開発を行っている。

Raluca教授は、ルーマニア(ブカレスト、Jassy、クルージュナポカ)、ベルギー(アントワープ)、オーストリア(ウィーン)、イスラエル(エルサレム)、南アフリカ(プレトリア、ヨハネスブルグ)、米国(ニューオーリンズ、ボストン、サンフランシスコ、UCバークレー校)、オーストラリア(パース)で招待講演を、また、ヨーロッパ、北米、南米、アフリカの国際会議やシンポジウムで400を超える講演を行ってきた。発表論文においては2500位以上の引用で26のh-indexを持っており、専門学会では依頼を受けて短期講演を実施している。Raluca教授は、40以上の国内および国際的な賞 (例えばウェルヘルム・サイモン賞(1997)、南アフリカ化学研究所レイクス・メダル(2001)、南アフリカNRF会長賞(2001)、世界知的所有権機関から最優秀女性発明賞、国際発明フェアでの賞(ジュネーブ、2010)) で受賞している。

所属学会等: アメリカ化学会員 (ルーマニア部会長)、EUCHEMs分析化学部門メンバー、電気化学学会員 (米国)、国際電気化学会員、国際生物電気化学会員、およびIUPAC委員。

経歴: ルーマニア・ブカレスト大学で学士(1992)および博士(1997)の学位を取得。またルーマニア・ブカレストの国立音楽大学でピアノと音楽教育の学士(1996)および修士(1997)の学位を取得。

## サム・キャセグン氏



サム・キャセグン(Sam Kassegne)博士は、バージニア工科大学において機械工学の学位を取得。研究分野は、ニューロMEMS、バイオ・ナノ・エレクトロニクス、ポリマー光発電技術、統合マイクロ・ナノ加工技術など。現在の研究は、有機MEMS、新規バイオ・ナノ・エレクトロニクスのプラットフォーム、ニューロMEMSの分野に焦点を当てて、双方向性閉回路ブレイン・コンピューター・インターフェイスのためのカーボン・ベース・チューナブル微小電極アレイの開発を行っている。Kassegne博士の研究グループでは、フレキシブル基板とCMOSプロセスをもつ統合型グラッシー・カーボン電極のための製造技術を確立してきた。これらの電極はすでにワシントン大学の共同研究者の研究室で生体内テストが実施されている。

Kassegne博士は、現在SDSU(サンディエゴ州立大学)で機械工学の教授職にあり、感覚神経工学研究センターが出資したNSF(予算規模4000万ドル/10年)の副ディレクターを兼務している。パートナー研究機関として、ワシントン大学やMITがある。Kassegne博士は、南カルフォルニアでのNanogen社やMicrofabrica社、Bentleyシステムズ社で勤務した経験を通じてMEMS分野に限らず様々な分野で多くの企業経験があり、また、コーニング/インテリセンス社やSAIC社、ネバダ・ナノテク社、OxyHeal社、Game Changers社、Cooley LLP社など多くの企業のコンサルタントを行ってきた。これまでの出版実績や企業活動での幅の広さや奥深さが示しているように、Kassegne博士は多くの工学分野に渡るユニークな活動経歴をもっている。これまでの実績として、Kassegne博士の研究はこれまでに、NSF、DOE、SPAWAR、CSUPERB、アルファテック、Amco(韓国)等によってサポートされている。また教育面では、客員研究員をしていたMarc Madou研究室があるUCSD(カリフォルニア大学サンディエゴ校)やUCI(同アーバイン校)でMEMSやFEAの講義を担当した実績がある。

本件に関するお問い合わせ  
学術研究院(工学分野) 教授 古川 英光  
電話:0238(26)3197  
Mail: furukawa@yz.yamagata-u.ac.jp

3rd International Conference on Smart Systems Engineering 2015

# SmaSys 2015

[Home](#)[Scope and Topics](#)[Schedule](#)[Program](#)[Submission](#)[Registration](#)[For Presenters](#)[Venue](#)[Organizing  
Committee](#)[Sponsors](#)[Contact](#)[SmaSys Focus  
issue](#)

## INFORMATION

---

2015-09-01 Registration added.

2015-08-26 Program at a glance and  
For Presenters added.

2015-08-06 2nd circular uploaded.

2015-08-02 Invited Lectures added.

2015-06-29 Submission page added.

2015-03-04 Web site uploaded.

## Date and Place

October 8 (Thu) – 9 (Fri), 2015

Yamagata University, Yonezawa, Japan

### Invited Lectures

Naoya AIZAWA (Kyushu University)

Masao DOI (BeiHang University)

Sam KASSENE (San Diego State University)

Yasuhiro KOHSAKA (Shinshu University)

Lijian MA (Sichuan University )

Kiyoshi MABUCHI (Kitasato University)

Ken NAKANO (Yokohama National University)

Raluca Van STADEN (National Institute of Research for  
Electrochemistry and Condensed Matter, Romania)

Vijay VARADAN (The Pennsylvania State University)

2nd circular

Organized by

The Innovative Flex Course for Frontier Organic Material  
Systems (iFront), Yamagata University,

Co-sponsored by

Business Research Institute for Glocal Innovation, Yamagata  
University

Life-3D Printing Innovation Center (LPIC), Yamagata

University,  
back to topTotal Assistance for Seasonal Foods Transportation from  
Yamagata (TASTY), Yamagata University  
Soft and Wet Matter Engineering Laboratory, Yamagata  
University

---

[Home](#) [Scope and Topics](#) [Schedule](#) [Program](#) [Submission](#) [Registration](#) [For Presenters](#) [Venue](#)  
[Organizing Committee](#) [Sponsors](#) [Contact](#) [SmaSys Focus issue](#)

Copyright © 2015 Yamagata University, iFront Program All Rights Reserved.

平成27年10月8日  
山形大学

## 「旬の学生活動発表会」を開催します

「山形大学と交流する会」では、学生の研究成果・研究室活動を広く情報発信するため、学生企画「旬の学生活動発表会」を開催いたします。

### ◆開催目的

学生が社会に向けて日頃の（研究）活動を発表することは、人材育成の面において授業だけでは体験出来ない、大きな経験を得る機会になります。また、地域企業関係者、一般市民の方々と意見交換を行うことで大学と地域の絆（理解）を深め、産学連携活動やフィールドワーク活動の促進など新たな学生活動へ繋がる機会にしたいと考えております。

この発表会は、「研究成果や研究室活動を広く情報発信する機会が欲しい」との学生達の意見を受け、「山形大学と交流する会」所属の学生AA（アドミニストレイティブ・アシスタント）が企画・運営を行うものです。

地域企業関係者、一般市民の方々への情報発信の他、これから研究室に所属し研究を始める大学生1～2年生、大学進学を目指す高校生に、研究もしくは、学生活動について考えるきっかけになれば幸いです。

第2回目となる今回は、本学の大学祭である「八峰祭」期間中の開催となりますので、より多くの方々にご来場いただければと思います。

### ◆実施概要 ※詳細は別途チラシ参照

日時：平成27年10月24日（土）（八峰祭1日目）  
13時30分～15時30分

場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館2階122教室  
（山形市小白川町1-4-12）

対象：企業関係者、一般市民、大学生、高校生（参加無料：事前申込不要）

構成：活動発表（発表者）

- |           |        |
|-----------|--------|
| ・人文学部     | 佐々木 英人 |
| ・地域教育文化学部 | 古川 真奈未 |
| ・理学部      | 渡邊 瑛里  |
| ・工学部      | 工藤 綾乃  |
| ・農学部      | 細川 裕司  |

### （お問合せ先）

山形大学と交流する会事務局  
（エンロールメント・マネジメント部社会連携課）  
電話：023-628-4843  
MAIL：yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ジョン・スタインベック『真珠』における音楽的表現の謎

13:40~14:00

日本農業の全要素生産性

14:00~14:20

星空案内人の養成と活動の現状について

14:20~14:40

山大学生になったら  
どんなことができるの？

「忘れられる権利」は認められるべきか

14:50~15:10

触感と食感の不思議

15:10~15:30



10.24(土) 13:30~15:30

@山形大学 小白川キャンパス  
基盤教育1号館122教室

山大学生による  
旬の学生生活発表会

☆第49回八峰祭と同時開催!!

主催 : 山形大学と交流する会

お問合せ先

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

山形大学と交流する会事務局

(山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課)

TEL : 023-628-4843 FAX : 023-628-4491

E-Mail : yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# ～ 発表者と所属研究室について ～

## ◆ジョン・スタインベック『真珠』における音楽的表現の謎 (13:40~14:00)

地域教育文化学部金子淳研究室4年 古川真奈未

大学では主に英米文学や国際交流について学んでいます。出身は福島県の会津地方です。趣味は旅行で、大学在学中にカナダ・タイ・台湾・韓国・ベトナムなどに行き、現地の文化や言語にふれてきました。

## ◆日本農業の全要素生産性 (14:00~14:20)

農学部小沢互研究室4年 細川裕司

農業分野の生産要素を分類し、生産関数式を使って時系列で生産性の変動要因を分析する成長会計分析を行っています。今回は、先行研究の資料を参考に、日本農業の政策・現状を分析します。大きな会場でのプレゼンは初めてで、緊張するかと思いますが、よろしくお願いします。

## ◆星空案内人の養成と活動の現状について (14:20~14:40)

理学部「やまがた天文台」学生グループ 理工学研究科2年 渡邊瑛里

やまがた天文台や他所野外で星の観測などを楽しみ、同時に星空の楽しみを伝えるメッセンジャーとして星空案内などの普及活動をしています。

## ◆『忘れられる権利』は認められるべきか (14:50~15:10)

人文学部中島宏研究室4年 佐々木英人

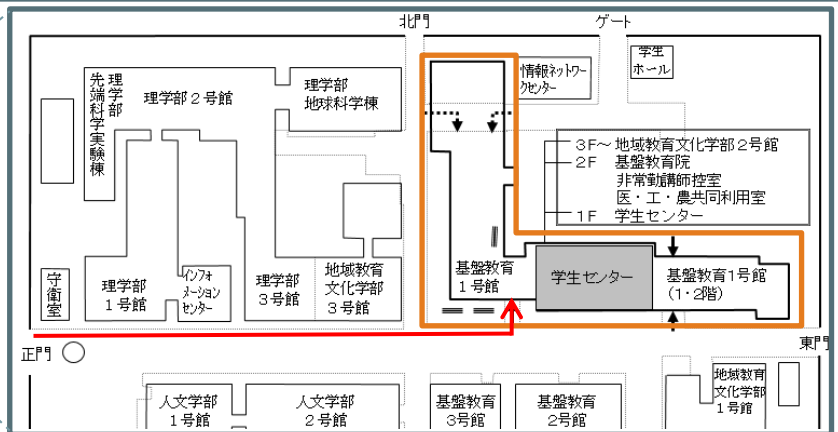
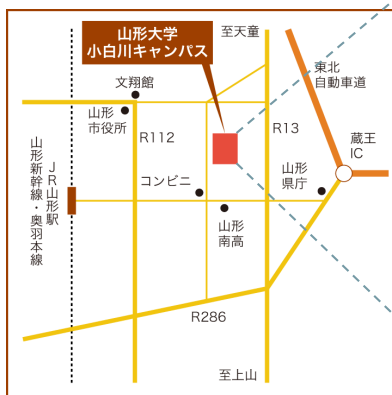
私たちは憲法で保障された権力がどのようなものなのか専門書や判例を基に研究しており、私がテーマにしている「忘れられる権利」は近年ニュース等でも取り上げられるホットな話題です。この権利にどんな利点、問題点があるか見ていければと思います。

## ◆触感と食感の不思議 (15:10~15:30)

工学部野々村美宗研究室4年 工藤綾乃

野々村研究室では手ざわりについて物理化学と心理学の両方から研究しています。今回は手ざわりの研究と、私が担当する食感に関する研究について発表します。「手ざわりや食感って、どうやって研究するの?」と気になったら、ぜひ聞きに来てください!

### ◀ 会場アクセス ▶



### < お知らせ >

大学構内は、駐車場がございません。  
お越しの際は、公共交通機関のご利用をお願いいたします。  
ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

- 山形駅から東方へ約2km
- 山形駅前から徒歩約25分
- 山形駅から「山形県庁」行きバスで山形南高前山大入口下車(所要時間 約7分) バス停から徒歩7分

☆皆様のご参加を  
心よりお待ちしております。





平成27年10月8日  
山形大学

## 1. 留学生とチューターの合同研修旅行について（山形大学開学記念日企画）

◇日時：10月14日（水）・15日（木）

◇研修先：山形県西川町（月山地蔵沼・志津・大井沢）、寒河江市（慈恩寺）

この研修旅行は、自然豊かな西川町に宿泊し、留学生とチューターが共同してグループワークを行いながら懇親を深めるとともに、地域との国際交流を推進することを目的としたものです。

山形大学に在籍する外国人留学生と日本人学生に引率の教職員をあわせて約60名が参加する予定です。

詳細は別紙通知をご覧ください。

## 2. サイエンスカフェ「ヤマガタ食材を科学する」を開催します

◇日時：10月17日（土）13時15分～15時

◇場所：山形市民会館1階大会議室（〒990-0039 山形市香澄町2-9-45）

◇参加費：無料（飲物・菓子付き）

◇定員：40名（申込者多数の場合は抽選）

◇対象者：対象は小学生以上 乳幼児は保護者同伴

◇申込み：10月9日（金）締切

詳細は別紙通知をご覧ください。

## 3. 「理学部ホームカミングデー2015」を開催します

■理学部講演会「ティーデマン・ふすま賞、理学系の受賞論文講演」

◇日時：10月24日（土）10:00-10:45

◇場所：理学部11番講義室

■「サイエンス再発見！」スタンプラリー開催

◇日時：10月24日（土）～25日（日）10:00-16:00

◇場所：理学部教員研究室

詳細は別紙チラシをご覧ください。

## 4. 「山形大学農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチ」を開催します

◇日時：10月27日（火）

【第1部 研究シーズ説明会】農学部の研究シーズについて教員がわかりやすく説明します

時間：13:00-13:50

会場：農学部302講義室

【第2部 ビジネスマッチ】教員との面談形式によりマッチングの可能性を探ります

面談時間スケジュール ※要事前予約

1回目：14:00-14:25 2回目：14:30-14:55 3回目：15:00-15:25 4回目：15:30-15:55

詳細は別紙チラシをご覧ください。

## 5. 「東北野生動物管理研究交流会 in ふくしま」を開催します

◇日 時：11月28日（土）10:00-17:15

◇場 所：福島大学金谷川キャンパス

◇参集範囲：行政、大学・研究機関、民間団体、関連企業、一般市民

詳細は別紙チラシをご覧ください。

以上

# プレス通知資料

山形大学開学記念日企画

平成27年10月8日  
山形大学

## 留学生とチューターの合同研修旅行について

日時：2015年10月14日（水）15日（木）

研修先：山形県 西川町（月山地蔵沼・志津・大井沢）寒河江市（慈恩寺）

この研修旅行は、自然豊かな西川町に宿泊し、留学生とチューターが共同してグループワークを行いながら懇親を深めるとともに、地域との国際交流を推進することを目的としたものです。

山形大学に在籍する外国人留学生と日本人学生に引率の教職員をあわせて約60名が参加する予定です。

### スケジュール：

10月14日（水）

13:00 小白川キャンパス出発

14:00～16:00 月山ブナの森観察（ネイチャーセンター）

16:30～17:00 志津温泉 散策

17:00～18:00 グループワーク

18:00～ 夕食・入浴等（志津温泉泊）

10月15日（木）

9:00 志津温泉出発

10:00～11:30 大井沢伝承館 体験

12:00～13:30 チェリーランド（トルコ館） 昼食

14:00～15:00 慈恩寺拝観

15:30頃 小白川キャンパス到着

なお、この企画は本学の「国際化推進事業支援プログラム」に採択されたもので、大学運営資金の補助を得て、小白川キャンパス国際センターが実施します。

またプログラムの企画にあたっては、関連施設の担当者の方々、本学の卒業生や本学を退職した教職員で西川町や寒河江市で活躍されているの方々等のご協力を得ています。

### 【お問合せ先】

国立大学法人山形大学

小白川キャンパス事務部学生課 留学支援担当

担当：片桐

電話 023-628-4927

メール kmryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# サイエンスカフェ 「ヤマガタ食材を科学する」

開催日時：10月17日(土) 13時15分～15時

場所：山形市民会館 1階 大会議室

参加費：無料(定員40名)

山形県らしい食材や食品の研究開発に関する最近のトピックスを、専門家にやさしく解説・紹介してもらおう企画です。話題提供後、自由に話題提供者とお話いただく時間をご用意しています。どなたでも参加できますので、皆様お誘いの上、ぜひお越し下さい。

話題1)「山形のお酒の特徴について」

山形県工業技術センター 小関敏彦氏

山形のお酒の特徴や原料米や新製品の開発に関する秘話

話題2)「寒ダラ汁の調理法と栄養成分」

山形大学地域教育文化学部 山岸あづみ氏

寒ダラ汁の加工法の違いに伴う栄養成分について

話題3)「ピーナッツ種皮廃棄物から機能性食品を」

山形大学地域教育文化学部・理工学研究科 小酒井貴晴氏

落花生から回収できる機能性ポリフェノール成分について

申し込み方法：EメールかFAXで、件名「10/17サイエンスカフェ参加希望」と記載の上、1)参加人数、2)名前、3)年齢、4)連絡先(メールアドレスか、電話番号かFAX番号のいずれか)、を明記の上、下記まで申し込みください(10月9日(金)締切)。

申込・お問合せ先：山形大学地域教育文化学部 小酒井貴晴

申込メールアドレス：[shibuya.aluminium@e.yamagata-u.ac.jp](mailto:shibuya.aluminium@e.yamagata-u.ac.jp)

申込FAX(受信専用)：023-628-4354

# 理学部ホームカミングデー2015

申込不要！

## ■理学部講演会 10月24日(土)10:00 ~ 10:45

場所：山形大学理学部 11番講義室

### 「ティーデマン・ふすま賞、理学系の受賞論文講演」

理学部ホームカミングデーでは、最近の学生の研究成果を紹介するため、今年度のティーデマン・ふすま賞受賞論文についての講演会を行います。

※ティーデマン・ふすま賞は、人文・理学系（人文学部、理学部および関連研究科）における昨年度の卒業論文・修士論文を対象に募集し、応募論文の中から特に優れた論文と認められた論文に対して、ふすま同窓会が授与する賞です。

## ■プログラム

### 10月24日(土)

10:00~10:05 理学部講演会 開会の挨拶（理学部長 玉手英利）

10:05~10:35 講演

題目「新型半導体光センサを用いた

全方位指向型ガンマ線検出器の基礎実験」

～除染活動促進が期待される検出器の開発を目指して～

講演者：小島圭貴氏（大学院理工学研究科 博士前期課程 物理学科専攻）

10:35~10:45 ティーデマン・ふすま賞について（理学部副学部長 脇克志）  
閉会の挨拶

問い合わせ先：山形大学理学部事務室

E-mail [koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

電話 023-628-4505

理学部ホームページ

<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/index.html>

自家用車でのご来場はご遠慮ください。

理学部ホームカミングデー 2015

スタンプラリー開催 事前申込み不要!

## 研究室公開スタンプラリー

研究室をまわってスタンプをGETしよう!

10/24(土)・10/25(日)各日スタンプ3個以上で粗品をプレゼント!  
理学部1号館受付でスタンプラリーパンフレットを受け取ってスタート!



## ～理学部研究室公開～

10月24日(土) 下記公開時間帯中は、いつでも見学可能です。

- 10:00～16:00 大西・北浦研究室「光の不思議を体験してみないか?  
ー簡単な実験から最先端分光学の実験までー」
- 10:00～16:00 奥野研究室「奥野研横断スタンプラリー!!」
- 10:00～16:00 中内研究室「クラゲとプラナリアを用いた原始的筋細胞の  
構造と機能の研究」
- 10:00～16:00 宮沢研究室「陸上植物の環境応答を制御する分子機構の研究」
- 10:00～16:00 方 研究室「数値計算法の改善でより正確に問題を解く」
- 10:00～16:00 本山 研究室「古生物の魅力」
- 10:00～16:00 伴 研究室 「蔵王火山」
- 18:15～20:00 柴田研究室「宇宙を見て感じて楽しもう」※スタンプラリー対象外  
※やまがた天文台での見学につき受付と参加料200円が必要です。  
19:15 までにご入場下さい。

10月25日(日)

- 10:00～16:00 脇研究室 「和算家会田安明の紹介」
- 10:00～16:00 中森研究室 「目に見えない世界を放射線で「見る」」
- 10:00～16:00 鶴浦研究室 「化学反応あれこれ」
- 10:00～16:00 横山研究室 「植物と他の生物の関わりが導く植物の進化を考える」
- 10:00～16:00 本山 研究室「古生物の魅力」
- 10:00～16:00 伴 研究室 「蔵王火山」

問い合わせ先：山形大学理学部事務室

E-mail [koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

電話 023-628-4505

理学部ホームページ

<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/index.html>

自家用車でのご来場はご遠慮ください。

# 研究シーズ 説明会・ ビジネスマッチ

平成27年10月27日(火)

## 【第1部 研究シーズ説明会】

農学部の研究シーズについて教員がわかりやすく説明します

時間: 13:00~13:50

会場: 農学部 302 講義室(3号館3階)

## 【第2部 ビジネスマッチ】

教員との面談形式によりマッチングの可能性を探ります

面談時間スケジュール ※要事前予約

1回目	2回目	3回目	4回目
14:00~14:25	14:30~14:55	15:00~15:25	15:30~15:55

## 研究シーズとは？

シーズとは seeds(種)のことで、“研究シーズ”とは新たな産業を生み出す種や芽となる研究、事業化が見込まれる開発研究のことを言います。農学部では日頃の研究成果を地域社会に発信するために『農学部研究シーズ集』を作成しておりますが、当日はその内容をよりわかりやすく教員が説明いたします。農学部で行っている研究内容にご興味のある方、ビジネスパートナーとして相談できる教員を知りたい、という方々におかれましては、是非この機会をご利用ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ先: 山形大学農学部企画広報室  
TEL0235-28-2910 FAX0235-28-2812  
E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

**日 時：平成 27 年 10 月 27 日（火）午後 1:00 開始**

**会 場：山形大学農学部（鶴岡市若葉町 1-23）**

**参加費：無料**

参加ご希望の方は下記必要事項を FAX、E-mail または、お電話にてご連絡ください。

電話・FAX でお申し込みの方

**TEL0235-28-2910**

**FAX0235-28-2812**

メールでお申し込みの方

**nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp**

※ メールでのお申し込みの際には、件名に「研究シーズ説明会申し込み」と記載願います。

## 参加申込書

申込締切／平成 27 年 10 月 20 日（火）

事業所等	
住所	〒
TEL／FAX	
E-mail	
ご参加者名（役職名）	

### 第 1 部 研究シーズ説明会

参加します

参加しません

### 第 2 部 ビジネスマッチ

参加します

参加しません

※ ビジネスマッチに参加の方はご相談内容または面談希望教員などを記載願います。折り返し担当者より連絡を差し上げ、面談時間を調整させていただきます。（シーズ説明会を聞いてからの面談お申し込みも可能ですが、事前予約優先となりますことをご了承願います。）



第2回  
東北野生動物管理研究交流会 in ふくしま

東北の

# 野生動物管理

を考える

2015. 11. 28. Sat.

10:00 - 17:15 (9:30 開場)

福島大学 金谷川キャンパス L4 教室

入場無料 | 要申込 (裏面参照)

申込締切 | 2015. 10. 30 (Fri.)

定員 | 先着 150 名

基調講演

鳥獣対策の次の一手

平田滋樹氏 (長崎県農林部農山村対策室)

福島セッション

福島の野生動物管理を考える

奥田圭氏・藤松翔太郎氏・小寺祐二氏・今野万里子氏

ポスター展示

野生動物に関する事例紹介 | **発表者募集中!**

主催 | 山形大学 YU-COE(C) 人口減少社会適合型野生動物管理システム創生拠点, 福島大学

後援 | 福島県, 「野生生物と社会」学会

研究交流会実行委員

山形大学 | 江成広斗 (拠点代表)・林田光祐・玉手英利, 福島大学 | 奥田圭・西崎伸子, 山形県森林研究研修センター | 斉藤正一, (同) 東北野生動物保護管理センター | 宇野壮春, 福島県農業総合センター | 木幡栄子, 新ふくしま農業協同組合 | 今野文治, 福島二ホンザルの会 | 大槻晃太, 野生どうぶつ調査団 (交流会事務局) | 奥田加奈・江成はるか

# 開催趣旨

野生動物によってもたらされる産業・生活基盤への影響は、深刻な社会問題として広く認識されるようになりました。これら問題の主因として、野生動物の個体数の増加と同時に、中山間地における急速な人口減少が考えられます。

そのため、人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を共有・整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論します。

## 福島セッション (10:15 ~ 12:30)

### 福島の野生動物管理を考える

帰還困難・居住制限区域内における野生動物の生息状況 | 奥田圭 (福島大学)

帰還に際する住民の野生動物被害に対する不安 | 藤松翔太郎 (NHK 福島放送局)

低レベルで放射能汚染された地域におけるこれからの野生動物管理 | 小寺祐二 (宇都宮大学)

会津地方におけるこれからの民間団体の役割を考える | 今野万里子 (NPO法人 お一でらす)

## 基調講演 (15:25 ~ 17:05)

鳥獣対策の次の一手 平田滋樹氏 (長崎県農林部農山村対策室)

## 野生動物に関する事例紹介

### 発表者募集中! (先着30題)

#### 発表例

野生動物の生態に関する基礎・応用研究

野生動物の問題解決に向けた地域づくり

野生動物に関する事例のみを対象とします。  
(愛玩動物は含まれませんのでご了承ください)

※発表を希望される方は、下記連絡先からお申込み下さい。

ポスターパネルのサイズは、175 cm (縦) × 120 cm (幅) となっております。

## 懇親会 (17:30 ~ 20:00)

### 参加者の皆様と交流しましょう!

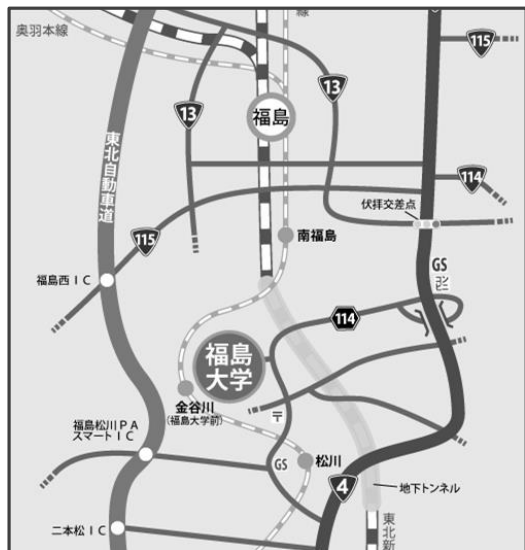
懇親会会場 | 福島大学生協

定員 | 先着 100 名

会費 | 3000円 程度

(参加をご希望の方に後程提示いたします)

懇親会は、事前申し込みが必要です。  
当日参加は受け付けておりませんので、  
ご注意ください。



アクセス 福島大学金谷川キャンパス (福島県福島市金谷川1番地)  
鉄道 | JR金谷川駅 下車 徒歩5分

[JR金谷川駅: 福島駅から2駅, 郡山駅から8駅]

高速道路 | 東北自動車道 福島松川スマートICより 5.5km

※大学構内への自家用車乗り入れは可能ですが、駐車スペースが限られています

#### お問い合わせ(申込)先

FAX(電話対応不可) | 0235-28-2925

E-mail | tohoku.wildlife@gmail.com

氏名・所属・連絡先・ポスター発表の有無  
(発表する際はタイトルと共同発表者名を記載)・  
懇親会参加の有無を記載してください。